

新旧打継用エポキシ系接着剤

ERボンド#55

ERボンド#55は、弊社特殊モルタルをコンクリート・モルタル・樹脂塗膜などの下地へ打ち継ぐ際に使用するエポキシ系接着剤（水希釈型）です。弊社特殊モルタルと下地を強固に接着します。

特長

- ▶ 水希釈型エポキシ系接着剤
コンクリート・モルタル・樹脂塗膜などへの打ち継ぎに使用する水希釈型エポキシ系接着剤です。
- ▶ 乾湿面で優れた接着力
湿潤・乾燥面のいずれにも優れた性能を発揮し、弊社特殊モルタルと下地を強固に接着します。
- ▶ 施工が容易
他のエポキシ系接着剤と異なり、水希釈する為、刷毛、ローラーで容易に塗布できます。

用途

- ▶ RC構造物補修時の断面修復材、下地調整材の接着剤として
- ▶ 水路、ダム、トンネル、工場床、厨房床、ガソリンスタンド床等改修時の接着剤として

配合及び材料使用量

| ERボンド#55 荷姿 | 配合 | | | 積算使用量*1 (平滑面) (はつり面) 0.15 ~ 0.20 kg/m ² | 施工面積 | |
|----------------|------------|-----------|----------------|---|---------------------|------------------|
| | 主剤 | 硬化剤 | 水 | | 平滑面 | はつり面 |
| 18.0kgセット | 15.0kg (5) | 3.0kg (1) | 6.0~9.0kg(2~3) | | 120m ² ~ | 90m ² |
| 3.6kgセット | 3.0kg (5) | 0.6kg (1) | 1.2~1.8kg(2~3) | | 24m ² ~ | 18m ² |
| 1.2kgセット | 1.0kg (5) | 0.2kg (1) | 0.4~0.6kg(2~3) | | 8m ² ~ | 6m ² |

*1 積算使用量に水は含まれていません。不陸が多いほど必要量が増加します。
水を含んだ場合は、0.200~0.267kg/m²(水比2)、0.225~0.300kg/m²(水比3)

混合方法

1. 主剤5と水2~3*2を混合攪拌する。(混合比)
 2. 次に硬化剤1を加え、再度混合攪拌する。
- 混合後の可使用時間は夏期で1時間以内、冬期で2時間以内です。

*2 水が多いほど粘りが大きくなります。施工箇所や施工部位に応じて調整してご使用下さい。

施工要領

1. 下地処理

接着不良を防止するため、十分な清掃を行って下さい。

下地の劣化(レイトランス、脆弱部)や汚れ(コケ、油・樹脂汚れ)に応じて、高圧水洗(12MPa以上推奨)、洗浄液、ディスクグラインダー、バーナー等を用いて健全面を洗い出して下さい。

水洗後の水溜まりは十分に拭き取って下さい。

2. ERボンド#55塗布

上記配合で混合したERボンド#55を刷毛やローラーを用いて塗布して下さい。

壁・床面に塗布する場合、不陸(凹部)箇所にERボンド#55が溜まらないよう均一に塗布して下さい。

打ち継ぎの際、ERボンド#55が硬化(乾燥)した場合は再度塗布して下さい。

3. 上塗材(モルタル)塗布

ERボンド#55塗布後、タック(糸を引く状態)*3を確認し、硬化(乾燥)しない間にモルタルを塗布して下さい。塗り継ぎの際、下層モルタルが硬化した場合は再度塗布して下さい。

その他詳細は、上塗材の施工要領をご参照下さい。

*3 タック発生の目安は塗布後、夏期で5~20分、冬期で15~30分です。
気象条件(気温、直射日光、風)により変わりますので注意して下さい。

● 荷姿

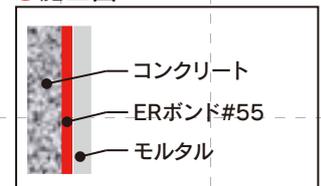


1.2kgセット

3.6kgセット

18kgセット

● 施工図



タック状況

性状

●主剤

| 項目 | 規格値 | 試験結果 | 試験方法 |
|------------------------|-------------|----------|------------|
| 外観 | 淡黄褐色透明液体 | 淡黄褐色透明液体 | 目視 |
| 比重(g/cm ³) | 0.95~1.01 | 0.97 | JIS K 7232 |
| 粘度(mPa·s) | 350.0~750.0 | 570.0 | JIS K 7322 |
| 不揮発分(%) | 39.5~43.5 | 41.6 | JIS K 7235 |

●硬化剤

| 項目 | 規格値 | 試験結果 | 試験方法 |
|------------------------|-------------|---------|------------|
| 外観 | 淡黄色透明液体 | 淡黄色透明液体 | 目視 |
| 比重(g/cm ³) | 1.08~1.14 | 1.10 | JIS K 7232 |
| 粘度(mPa·s) | 110.0~210.0 | 185.0 | JIS K 7322 |
| 不揮発分(%) | 73.0~77.0 | 74.5 | JIS K 7235 |

性能

■弊社特殊モルタルとコンクリート平板との打ち継ぎ付着性

●気中養生

| 製品名 | 材齢 | 7日 | 28日 |
|-----------------|----|-----|-----|
| フィックス T | | 1.5 | 2.0 |
| フィックス TS | | 2.0 | 2.5 |
| フィックス TS・EG | | 2.3 | 2.7 |
| フィックス LS | | 2.1 | 2.4 |
| フィックス LS・EG | | 1.9 | 2.3 |
| フィックス SR・EG | | 2.3 | 3.0 |
| フィックス HD | | 2.1 | 2.8 |
| フィックス SD | | 2.4 | 3.1 |
| マイルドスピリット MS-1 | | 1.9 | 2.4 |
| マイルドスピリット MS-2 | | 2.0 | 2.5 |
| マイルドスピリット MS・EG | | 2.2 | 3.0 |
| アシドバリア AD-2 | | 3.0 | 3.1 |
| A3プライマー | | 1.5 | 1.9 |
| #200 | | 1.9 | 2.4 |
| プレーンモルタル | | 1.4 | 1.8 |

単位 (N/mm²)

●水中養生

| 製品名 | 材齢 | 7日 | 28日 |
|-----------------|----|-----|-----|
| フィックス T | | 1.4 | 2.0 |
| フィックス TS | | 2.0 | 2.5 |
| フィックス TS・EG | | 2.1 | 2.9 |
| フィックス LS | | 2.0 | 2.5 |
| フィックス LS・EG | | 1.9 | 2.3 |
| フィックス SR・EG | | 2.3 | 3.0 |
| フィックス HD | | 2.1 | 2.8 |
| フィックス SD | | 2.4 | 2.9 |
| マイルドスピリット MS-1 | | 1.9 | 2.4 |
| マイルドスピリット MS-2 | | 2.0 | 2.5 |
| マイルドスピリット MS・EG | | 2.1 | 3.0 |
| アシドバリア AD-2 | | 2.7 | 3.1 |
| A3プライマー | | 1.5 | 1.9 |
| #200 | | 1.8 | 2.3 |
| プレーンモルタル | | 1.4 | 1.7 |

単位 (N/mm²)

試験方法… 20℃試験室にて、24時間水中に浸漬したコンクリート平板の表面を拭き、ERボンド#55を塗布し、タックを確認後、上記モルタルを10mm塗布したものを水中養生試験体とした。所定の材齢まで水中養生し、付着試験前日に試験体表層を乾かし、付着試験を行った。

注) 上記は当社実験室で試験を行った結果であり、品質保証値ではありません。

●使用上の注意

- ・ ご使用に際してはSDS(安全データシート)をよく読んで下さい。
- ・ 本製品は危険物であり、火気厳禁です。閉所では、十分に換気を行って下さい。
- ・ 作業時は、保護メガネ、手袋等を着用して下さい。
- ・ 混合前の製品は直射日光を避けて5~35℃で保管して下さい。
- ・ 混合物(後)は保管できません。可使時間以内に使用して下さい。
- ・ 混練水は水道水水質と同等のものを使用して下さい。
- ・ 廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して下さい。

●本資料について

- ・ 本資料の技術情報は、当社の試験・研究に基づいたもので、信頼しうる情報と考えられます。しかし、記載の諸性能および特性などは施工条件などにより本資料と異なる結果を生じることがあります。
- ・ 既存下地・施工環境・気温と様々な施工上の問題がありますので、ご使用の際は弊社営業担当へご相談下さい。
- ・ 本資料の記載事項は予告なしに変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

代理店



特殊セメントの分野を大きくリードする

エレホン・化成工業株式会社
EREWHON

<http://www.erewhon.co.jp/>

| | | | | |
|----------------|-----------|-------------------------|--------------------|--------------------|
| ●本社工場 | 〒870-0141 | 大分県大分市三川新町1-2-23 | TEL (097) 552-2251 | FAX (097) 552-2213 |
| ●いわき工場 | 〒979-3112 | 福島県いわき市小川町上平字中平30-3 | TEL (0246) 83-2600 | FAX (0246) 83-2677 |
| ●大阪支店 | 〒532-0003 | 大阪府大阪市淀川区宮原5-1-3 | TEL (06) 6842-7500 | FAX (06) 6842-7544 |
| ●福岡支店 | 〒814-0151 | 福岡県福岡市城南区堤1-9-10 | TEL (092) 874-6990 | FAX (092) 862-6398 |
| ●関東支店 | 〒224-0003 | 神奈川県横浜市都筑区中川中央2-5-13-3F | TEL (045) 534-9656 | FAX (045) 534-9657 |
| ●仙台支店 | 〒984-0012 | 宮城県仙台市若林区六丁の目中町6-2 | TEL (022) 287-7221 | FAX (022) 287-7222 |
| ●名古屋支店 | 〒463-0048 | 愛知県名古屋守山区小幡南3-5-21 | TEL (052) 758-1889 | FAX (052) 758-1890 |
| ●札幌営業所 | 〒007-0805 | 北海道札幌市東区東苗穂5条3-2-32 | TEL (011) 786-6051 | FAX (011) 786-6052 |
| ●新潟営業所 | 〒950-0963 | 新潟県新潟市中央区南出来島1-10-23 | TEL (025) 280-9282 | FAX (025) 283-6262 |
| ●静岡営業所 | 〒422-8058 | 静岡県静岡市駿河区中原743-1-1F | TEL (054) 270-9380 | FAX (054) 270-9381 |
| ●北陸営業所 | 〒920-0027 | 石川県金沢市駅西新町2-11-25 | TEL (076) 204-9417 | FAX (076) 204-9418 |
| ●広島営業所 | 〒739-1731 | 広島県広島市安佐北区落合2-41-22 | TEL (082) 841-2350 | FAX (082) 841-2360 |
| ●熊本営業所 | 〒861-8045 | 熊本県熊本市東区小山2-14-47 | TEL 050-3399-7419 | FAX (096) 388-6227 |
| ●鹿児島営業所 | 〒890-0082 | 鹿児島県鹿児島市紫原1-5-1 | TEL (099) 284-0533 | FAX (099) 284-0535 |
| ●精工レホン・技研本社 | 〒781-0270 | 高知県高知市長浜5226-13 | TEL (088) 805-2332 | FAX (088) 841-2322 |
| ●精工レホン・技研松山営業所 | 〒791-8042 | 愛媛県松山市南吉田町1450-6 | TEL (089) 974-8225 | FAX (089) 974-8230 |